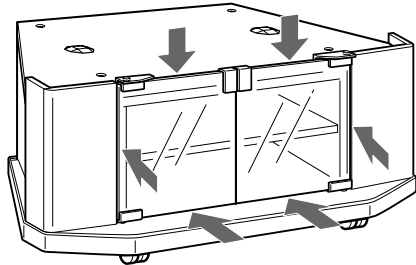
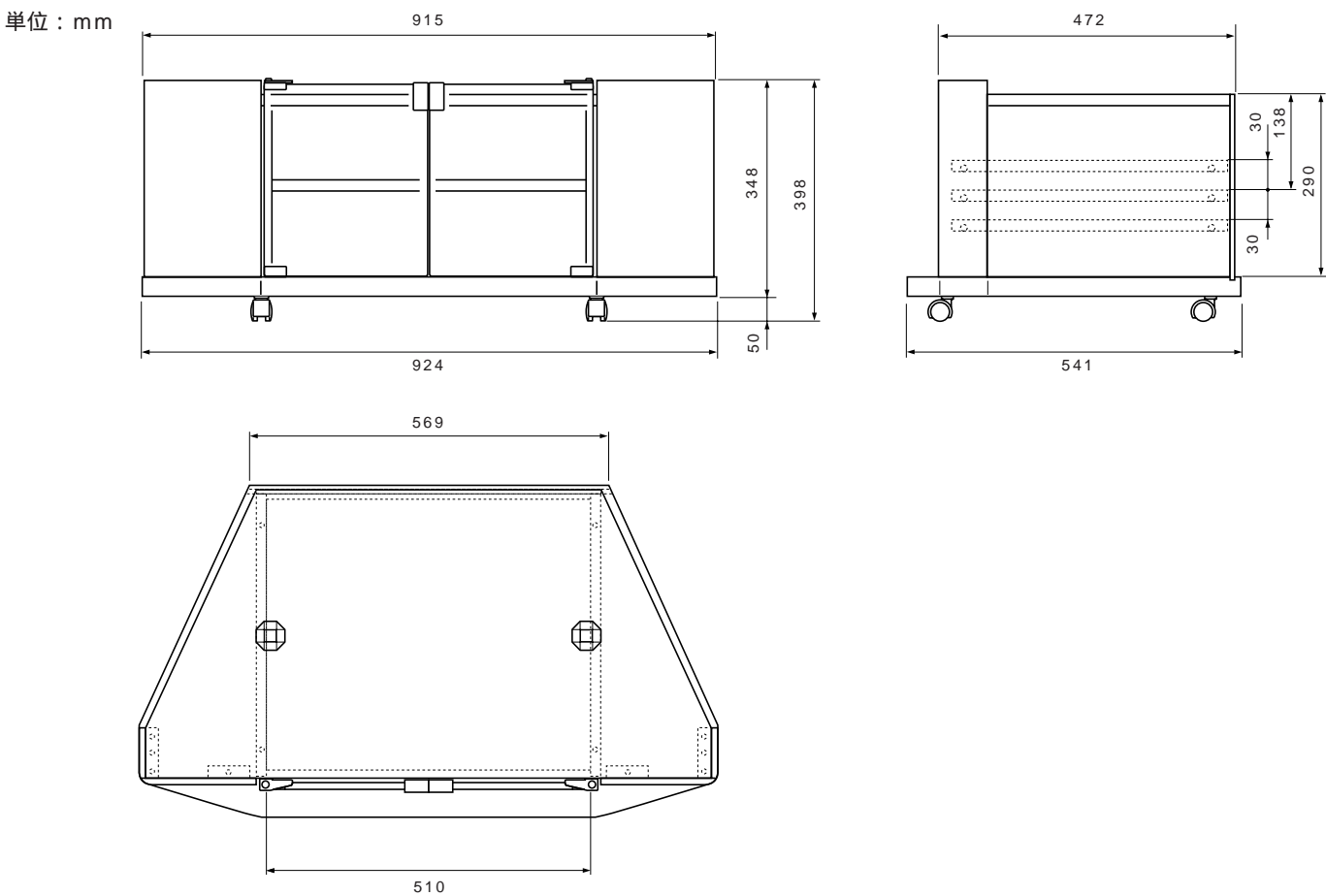


使用上のご注意

- ・ 組み立てるときや、ガラス扉の開閉時に、扉の隙間(図の矢印の部分)に指などはさまないよう注意してください。
- ・ 設置場所について
設置場所によってはスタンドの変形や傾きが生じることがありますので下記のことをお守りください。
 - 堅くて平坦な床面への設置
 - 畳の上に置く場合は板など堅い物を敷く
 - 直射日光が当たる場所や、暖房器具のそばに置かない
 - 高温多湿の場所や屋外に置かない
- ・ テレビを載せたまま移動するときは、テレビの落下を防ぐためスタンド部分を押すか、スタンドごと持ち上げるようにして移動してください。
- ・ 加熱した鍋、湯沸し等、熱いものを直接スタンドに置かないでください。熱により変色、変形することがあります。
- ・ 美しい状態でお使いいただくためときどき柔らかい布で、から拭きしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を5～6倍に薄め、柔らかい布に含ませて軽く拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの化学薬品はスタンドの仕上げを傷めることがありますので、使わないでください。



主な仕様



本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35
お問い合わせはお客様ご相談センターへ 東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111

総積載量についてのご注意

載せる機器の総質量がSU-37S2は75kg、を超えないようにしてください。また、それぞれの板には、図に示す質量以上のものを載せないでください。板を壊すおそれがあります。

20kg
20kg
35kg

テレビを固定する

固定しませんと、テレビが落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

載せる機器の総質量は、指定の質量を超えないようにする指定の質量を超えたり、板が割れたり、ぼんたりして、テレビ等を壊す恐れがあります。

組み立ては、組み立て手順に従ってしっかりと組み立てる

ネジがゆるんでいるいたり抜けていますと、スタンドが歪み、テレビが転倒し、けがの原因となります。特に裏板はスタンドの歪み防止のため必ず取り付けてください。

このスタンドは指定のテレビ専用です

指定外のテレビや重い物を載せますと、すべって落ちたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。

踏み台にしない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

ガラス扉に強い衝撃を与えない

スタンドには強化処理を施したガラスを使用していますが、絶対割れないわけではありません。割れますと、破片が飛び散りけがの原因となりますので下記のことをお守りください。

- ・ 物をぶつける、扉を開けたままぶつかるなど、強い衝撃を与えない。
- ・ 鋭利な物で傷をつけたり、ガラス面を突いたりしない。

安全のために

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

SONY

テレビスタンド

SU-37S2

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告

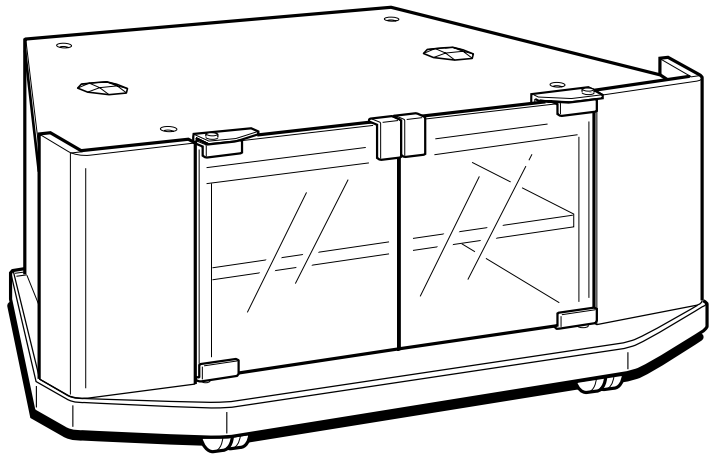
安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このテレビスタンドはソニーのLCDプロジェクションテレビKL-37HDとKL-37HW1専用のテレビスタンドです。

棚板にはビデオデッキやビデオディスクプレーヤーなどを収納するように設計されています。2台以上のときは、高さが合計約27.5cm(棚板は含まず)まで収納することができます。



Sony Corporation © 1996 Printed in Japan

テレビや収納機器のコードをはさまないようにする

コードがつかいこまれて火災や感電の原因となります。

禁止

- ・ スタンプを動かすとき、キヤスターで電源コードを踏まないようにする。
- ・ テレビなどをスタンドに載せるとき、電源コードをはさみこまない

スタンドにテレビを載せた状態で、テレビにぶら下からない

テレビが転倒して、大けが、死亡などの原因となります。

禁止

警告

下記の注意事項を守らないと**火災・感電・転倒**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

火災 感電

注意を促す記号

火災 感電

禁止

行為を禁止する記号

注意

この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・転倒などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・転倒などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために安全のための

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してかたをします。しかしまちがった使い

から本文をお読みください。

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかしまちがった使い

安全のために

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

部品表

名称	数量
天板	1
底板	1
側板	2
前側板	2
棚板	1
裏板	1
ガラス扉	2
キャスター	4
ネジ(大)	12
ネジ(小)	5
棚ダボ	4
マグネットキャッチャー	2
スペーサーパッド	2
上部取り付けヒンジ(右扉用)	1
下部取り付けヒンジ(右扉用)	1
上部取り付けヒンジ(左扉用)	1
下部取り付けヒンジ(左扉用)	1

組み立て手順

矢印は前面方向を示します。

1 キャスターを取り付ける。

メカチッと音がするまで強く差し込む。

2 側板を取り付ける。

1 側板を底板にネジ止めする。
側板は左右共通です。棚ダボ用穴が内側になるように注意してください。

2 前側板を底板にネジ止める。
前側板は右用/左用があります。
向き、および上下に注意してください。

3 棚板を取り付ける。

4 天板を取り付ける。

5 裏板を取り付ける。

- テレビラック固定ベルトが、本体の内側に入らないよう注意してください。
- 裏板を底板の溝に入れてください。
- ネジを締めすぎて、ネジがしっかり留まらなくなったときは、予備の穴を使ってください。

6 ガラス扉を取り付ける。

1 スペーサーパッドをガラス扉の外側に貼る。
2 マグネットキャッチャーをスペーサーパッドがはがれないように注意してはめ込む。
3 左扉用の上部取り付けヒンジで左ガラス扉をはさみ込み、ネジを締める。
右扉も同様にする。

4 下部取り付けヒンジを底板の穴に差し込む。
左扉用と右扉用を正しく差し込んでください。

5 天板の金具の穴にガラス扉に取り付けた上部取り付けヒンジの軸を差し込む。

6 そのまま上に押しつけながら、底板に差し込んだ下部取り付けヒンジにガラス扉を差し込み、ネジを締める。

3 ヒンジを取り付けるときのご注意

4つのヒンジは、扉に取り付ける位置によって、形状がすべて異なります。部品表と手順6のイラストをご覧ください。

- 下部取り付けヒンジの軸には段差があります。
- ヒンジのネジが、各々ガラス扉の内側になるように取り付けてください。ヒンジを左右の扉に正しく付けられます。

ガラス扉の位置を調整する。

テレビスタンドを組み立てた後、ガラス扉の位置が正しくない場合は、ヒンジのネジをゆるめて調整してください。

テレビの置きかた

- テレビの足が位置決めストッパーの穴に入るように正しく載せ、ストッパーの上のにり上げていないか、確認してください。
- テレビの電源コードを、天板とテレビのテーブルの間にはさまないように注意してください。コードに傷がついて、火災や感電の原因になります。
- テレビを載せるときは、ガラス扉にテレビが当たらないようにご注意ください。

テレビを取り付けるときは、必ず2人以上で、運んでください。前面パネルは持たないでください。前面パネルがはずれるおそれがあります。

運ぶときは、図のように片手を側面の下側にある取っ手につけ、もう一方の手で前面上部を支えて運んでください。

転倒防止について

このテレビスタンドには、テレビの転倒を防ぐために固定用ベルトが付いています。テレビを載せたら、必ず固定用ベルトのバックルを差し込んでください。バックルを差し込んだら抜けないかどうか確認してください。

1 バックルを差し込む。
カチッと音がするまで入れてください。

2 ベルトを引く。

ビデオなどを配線するときには

配線のため、裏板の 部を抜くことができます。ベニヤ板の場合は、切り込みの接続部をカッターなどで切り取ってください。